

和漢医薬学総合研究所の使命

和漢医薬学総合研究所は、先端科学技術を駆使することにより伝統医学や伝統薬物を科学的に研究し、以て東洋医薬学と西洋医薬学との融合をはかり、新しい医薬学体系の構築と全人的医療の確立に貢献することを使命とする。このために研究の柱を以下の課題に設定し、研究所内の横断的研究と国内及び国際共同研究を推進する。

1) 天然薬物資源の確保と保全

環境破壊や気象変化により、天然薬物の安定的供給が今後、益々困難になることが予想されている。本研究所では、天然薬物資源の確保、保全、および持続的利用を図るために、薬用植物の学術調査・蒐集・データベース化、栽培・育種とその評価、遺伝子情報解析、遺伝子工学的研究、及び新しい天然薬物資源の開発研究を推進する。

2) 和漢医薬学の基盤研究の推進と東西医薬学の融合

和漢医薬学では疾患を「証」として捉え、「証」に基づいた薬の処方と治療がなされる（弁証論治）。本研究所では先端科学技術を用いて、「弁証論治」などの東洋医学的概念の客観化(科学的証明)を図り、西洋医学との融合を推進する。また現代医療における天然薬物の有用性、作用機序、活性成分、代謝、体内動態、相互作用を明らかにし、確かな効果を有し、副作用の少ない新しい和漢薬製剤開発のための基盤研究を推進する。これらの先端科学研究に加えて医薬史学的考証を進め、伝統医薬学の継承と現代医療への応用をめざす。

3) 漢方医学における診断治療体系の客観化と漢方医療従事者の育成

漢方医学を含む伝統医学ではより経験知が重視される。このような伝統医学に固有の診断治療体系を客観化し、治療効果の科学的評価法を確立する。また、漢方医療従事者の教育研修のためのカリキュラムの作成と普及に努め、健康福祉に貢献する漢方医療従事者を育成する。

4) 伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成

本研究所民族薬物研究センター内に設置した和漢医薬学研究推進ネットワークを通じて、和漢薬・天然薬物の基礎・臨床研究に関する情報・知識を集積、交換、発信するとともに国内および国際的共有化を図り、併せて国内・国際共同研究を推進する中核的拠点を形成する。